



伊勢志摩サミット  
三重県民会議

# 伊賀・津・松阪・鳥羽 城郭めぐり



主な道路と路線図

伊賀上野城

津城跡

松坂城跡

鳥羽城跡



## 4つの城郭をめぐる スタンプラリー開催! 先着500名様に特製バッジをプレゼント!

### 松坂城跡

●所在地 / 松阪市殿町

一般社団法人  
松阪市観光協会  
〒515-0017  
三重県松阪市京町507-2  
松阪市観光情報センター内  
TEL 0598-23-7771  
FAX 0598-26-4778  
http://www.matsusaka-kanko.com/

交通のご案内

■車でお越しの場合		■航空機・列車でお越しの場合	
名古屋	約1時間10分	東京	約1時間40分
大阪	約2時間	京都	約2時間
松阪	約10分	名古屋	約1時間10分
津	約15分	松阪	約12分
鳥羽	約10分	京都	約2時間
伊勢	約15分	大阪	約1時間30分

### 伊賀上野城

●所在地 / 伊賀市上野丸之内106

一般社団法人  
伊賀上野観光協会  
〒518-0873  
三重県伊賀市上野丸之内122-4  
だんじり会館内  
TEL 0595-26-7788  
FAX 0595-26-7799  
http://www.igaueno.net/

交通のご案内

■車でお越しの場合		■三重交通高速バスでお越しの場合	
大阪	約20分	大阪方面	約20分
名古屋	約20分	名古屋方面	約1時間
津	約15分	伊賀方面	約1時間
鳥羽	約40分	鳥羽方面	約45分
伊勢	約40分	伊賀方面	約7時間

### 鳥羽城跡

●所在地 / 鳥羽市三丁目

一般社団法人  
鳥羽市観光協会  
〒517-0022  
三重県鳥羽市大明東町1-7  
TEL 0599-25-3019  
http://www.toba.gr.jp/

交通のご案内

■車・フェリーでお越しの場合		■航空機・列車でお越しの場合	
東京	約2時間30分	東京	約1時間40分
名古屋	約1時間10分	名古屋	約1時間35分
大阪	約2時間	京都	約2時間
鳥羽	約10分	名古屋	約1時間10分
津	約15分	松阪	約12分
伊勢	約15分	京都	約2時間
伊賀	約15分	大阪	約1時間30分

### 津城跡

●所在地 / 津市丸之内27

一般社団法人  
津市観光協会  
〒514-0009  
三重県津市羽所町700番地  
アスト津1F  
TEL 059-246-9020  
FAX 059-221-0811  
http://www.tsukanko.jp/

交通のご案内

■車でお越しの場合		■航空機・列車でお越しの場合	
名古屋	約1時間10分	東京	約1時間40分
大阪	約2時間	名古屋	約1時間35分
津	約10分	京都	約2時間
鳥羽	約10分	名古屋	約1時間10分
伊勢	約15分	松阪	約12分
伊賀	約15分	京都	約2時間
伊賀	約15分	大阪	約1時間30分



# 津城跡



スタンプ  
設置場所

高山神社に  
スタンプを設置しています。  
**高山神社**  
津市丸之内27-16  
TEL059-225-8558  
■受付時間 9:00~16:00  
■年中無休



築城の名手、藤堂高虎公が改修した  
典型的な近世城郭様式。  
石垣の直線的な稜線が特徴です。

織田信長の伊勢国侵攻に伴い地元の雄・長野氏に養子入りした弟・信包は、低湿地であった安濃川のデルタ地帯に新たに城を築きます。天正8年(1580)に完成したこの城が津城のルーツとなりました。ここは北を安濃川、南を岩田川に挟まれており、敵からの防御に優れた場所に城を築いたといえます。

文禄3年(1594)信包が秀吉に改易され、翌年新たに富田氏が津城主となります。知信・知高親子2代にわたる治世は約15年に及びます。

慶長13年(1608)徳川家康の命により、富田氏に替わり藤堂高虎が伊予国今治から伊勢・伊賀の城主として入府します。築城の名手・高虎は大坂包圍網づくりのため各地の天下普請に多忙を極めました。漸く慶長16年(1611)になり自領の津城と伊賀上野城の大修築にかかります。両城とも単なる城づくりではなく、来るべき泰平の世を見すえた新たな城下町の建設を構想したものでした。

津城最大の特徴は、最大100mにも及ぶ幅の広い内堀と、本丸北側に代表される直線的な稜線を持った高石垣です。これは高虎の城づくりの特徴で、石垣の上に建つ白壁の櫓が堀の水面に映える姿はまさしく「水城」と言えます。



**県都の津は、美人の湯やグルメなど魅力満載!**  
津市は、昔から湊町として栄え藩主が浜遊びとして始めた桶干しや潮干狩りなどで有名な白砂青松の海が広がります。また、榊原温泉は古来から伊勢神宮の湯治場で、美肌効果も高いことから「美人の湯」としても知られています。そして、最近では学校給食発祥のご当地グルメ『津ぎょうざ』が大人気。決まりは直径十五センチの皮を使った揚げ餃子、つまり具は自由なので各々のお店で違った味が楽しめます。

# 伊賀上野城



スタンプ  
設置場所

大天守閣内(有料)  
にスタンプを  
設置しています。

登閣料(入館料)		税込	
個人	団体(30人以上)	大人	小人
500円	200円	400円	150円

■開館時間 9:00~17:00(入館は16:45まで)

■休館日 12月29日~31日

公益財団法人 **伊賀文化産業協会**  
伊賀市上野丸之内106 TEL&FAX 0595-21-3148



戦国の世に築城の名手として知られる  
藤堂高虎公が本丸を拡張して普請。  
昭和に復興された天守閣が今も眩い。  
まはゆ



藤堂高虎公

“忍者の里”と呼ばれる伊賀国は、山に囲まれた9里四方の小さな盆地、その中心は上野城下町です。町の北側の丘には白亜三層の伊賀上野城が、静かな雰囲気醸しながら端麗な姿を見せていて、白鳳城の雅名があります。

天正13年(1585)、伊賀の国を領した筒井定次が三層の天守を築き、北に表門を構えました。豊臣秀吉の没後、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝ち、豊臣政権の継承者としての地位を確立するに及んで、慶長13年(1608)、定次を失政を理由に改易、藤堂高虎が伊賀・伊勢の城主として伊予今治城から移り、自ら縄張りを目指し、本丸を30mの高石垣で囲み、筒井古城を大拡張しました。しかし竣工直前の五層大天守は、慶長17年(1612)9月2日の暴風雨で倒壊、そのうち大坂夏の陣で豊臣方が滅亡したので城普請は中止され、城代家老が執政することとなりました。

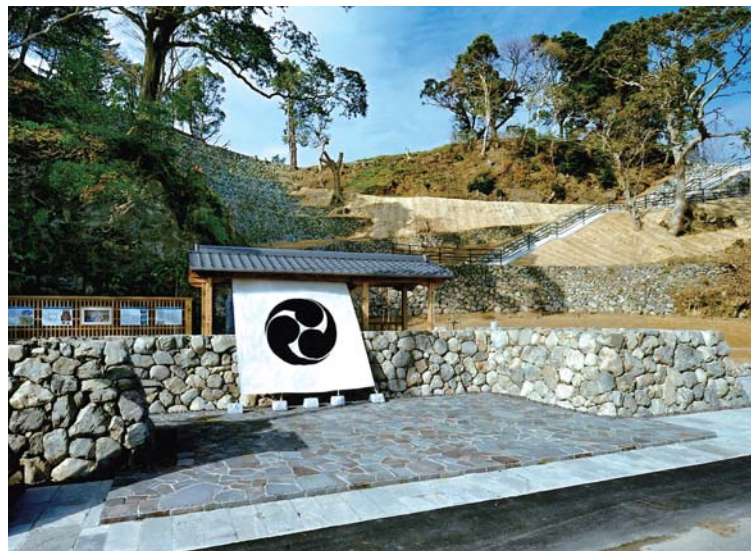
現在の天守は、昭和10年(1935)、地元の名士川崎克氏が私財を投じて純木造の復興天守を再建、伊賀文化産業城と称しました。城跡は昭和42年(1967)に国史跡に、天守は昭和60年(1985)に伊賀市の文化財に指定されています。



**伊賀上野は、伊賀流忍術の発祥地です!**  
上野公園(伊賀上野城址公園)には、日本で唯一の忍術(忍術)をテーマにした登録博物館である「伊賀流忍術博物館」があります。この博物館には、忍術が住んでいた仕掛けカラクリのある「忍者屋敷」や、忍術が使っていた道具や武器を展示している「忍術体験館」、また忍術の生活を紹介する「忍術伝承館」、そして、忍術が忍術を実演している「忍術ひろば」があり、手裏剣打ちの体験もできます。また、だんじり会館をはじめとした市内の「忍術変身処」で忍者衣装に変身してまちなか散策を楽しむこともできます。



# 鳥羽城跡



## スタンプ設置場所

鳥羽市歴史文化ガイドセンター内にスタンプを設置しています。  
開館時間/9:00~16:00  
休館日/年末年始

鳥羽城跡は、水軍の基地に適した、良港で知られる泊浦（鳥羽）の妙慶川河口部に位置し、標高40mの小山を中心に築かれた平山城で、南方山頂部に設けられた本丸を中心に、自然地形を利用して雉壇状に曲輪を配しています。

築城主は、織田信長や豊臣秀吉のもとで、水軍大将として活躍した九鬼嘉隆で文禄3年(1594)に竣工したとされています。

鳥羽城は、大手門は海に開いた水門で、内陸側には堀を巡らせ、四方を海に囲まれた「海城」でした。外曲輪を含めた総面積は32,280坪(約106,500㎡)で、内陸部からは藤口門、横町口門と相橋口門の3つの橋で連絡し、天守をはじめ、13の櫓が廃城時にはありました。城内は、絵図によれば、本丸の北西寄りに3層の天守があり、南側には本丸御殿がありました。

本丸跡の周囲には野面積みの石垣が残存し、当時の姿を留めています。その他にも鳥羽市民文化会館裏の家老屋敷跡周辺に石垣が残っています。堀は、大半が埋められて残っていませんが、妙慶川の相橋に堀の石垣が唯一残っています。石垣の石材は、カンラン岩と千枚岩を使用しており、これらの石材は、周辺の海岸部で採取されたものと考えられます。

戦国時代に水軍大将として活躍した九鬼嘉隆公。当時は四方を海に囲まれた「海城」。



九鬼嘉隆公



## 旅の疲れをいやす 絶景と海幸 鳥羽のお宿!

風光明媚な鳥羽の各地区には個性あふれるお宿がたくさんあります。なかには、約60軒の温泉宿があり、旅の疲れをきつと癒してくれることでしょう。

また、伊勢志摩の海の幸は、古来より、朝廷に献上されており、鳥羽市も美味しい食材の産地として広く知られています。それぞれの季節を楽しめる新鮮な海幸をふんだんに盛り込んだ料理でもってなしたいです。旅のあとは、ゆったりと鳥羽のお宿でくつろぎ、九鬼嘉隆の愛した鳥羽の風景と海の幸を満喫してください。



# 松坂城跡



御城番屋敷を望む

## スタンプ設置場所

歴史民俗資料館内にスタンプを設置しています。

開館時間  
9:00~16:30(4月~9月)  
9:00~16:00(10月~翌年3月)

休館日  
月曜日、祝日の翌日、年末年始  
※展示替えて臨時休館あり

※休館日は松阪市観光情報センターにスタンプを設置しています。

織田信長亡き後、羽柴(豊臣)秀吉に仕え天正12年(1584)南伊勢12万石の所領を与えられた蒲生氏郷は、四五百森に着目し新しい城造りに着手します。天正16年(1588)、城造りを始めてからわずか3年後、新しい城に本拠を移し、蒲生家に吉祥をもたらす「松」の字と秀吉の本拠地「大坂」の「坂」の字を併せ「松坂」と名づけました。

松坂城は、標高約38mの独立した丘陵(四五百森)に築かれた平山城で、北側を流れる阪内川を防御ラインとした要害の地に立地しています。丘陵を切通して南北に分断し、中核部である北丘、城の鎮守神を祀る南丘、両丘の周囲の三の丸で縄張りが構成されています。

北丘は、本丸を中心として東側に二の丸、南側に隠居丸、西側にきたい丸を配し、周囲には堅固な石垣を巡らせています。また、城の周囲には三の丸を取り巻く形で土居(土塁)、その外側に堀がありました。

築城当時の石垣は、自然石を利用した「野面積み」で、その石垣ひとつひとつを注意深く観察すると、古墳の石棺など他の石造物の部材も使用されていることがわかります。

織田家から豊臣家に仕えた戦国武将・蒲生氏郷公が築いた城。国史跡の城郭が往時を物語ります。



蒲生氏郷公



## ちよつとひと休みして「松阪牛」を堪能!

きめ細かい霜降りと、箸で切れる柔らかな肉質はさすがに世界に誇るブランド「松阪牛」です。醤油と砂糖を使った味付けのすき焼きや、お肉本来の味を楽しめる網焼きなど、どれも自慢の肉質だから美味しさも絶品です。

また、味噌味などお店によってことなるタレで楽しめるホルモンもお値打ちで人気です。





# 4つの城郭をめぐる

それは伊賀・津・松阪・鳥羽の4つの城郭を回って歴史とご当地の特色を楽しむ旅です！

戦国時代の武将たちが礎を築いてきた4つの城郭が旅の舞台です。そこには今も脈々と続く歴史があり、興味深い発見があります。さらに、その地域独自の味わいや心安らぐ憩いの場所など新しい出逢いもあります。今回は、スタンプラリーの企画もあり、めぐる楽しみがもうひとつ増えました。さあ、お出掛けください。

●例えばモデルコースでは、伊賀上野城が始まりです。

## 伊賀上野城

伊賀市(伊賀上野)は藤堂高虎により碁盤目状に整備された城下町で、歴史の陰で活躍した伊賀忍者・伊賀流忍術発祥の地、紀行文や名句を生んだ松尾芭蕉の生誕地でもあります。また豊かな自然の恵みを受けた味わい深い品々や、脈々と受け継がれてきた伝統工芸品などがある「文化薫る歴史の町」です。

## 津城跡

津城跡の近くには、『伊勢は津で持つ、津は伊勢で持つ』と歌われた津の礎を築いた藤堂高虎や歴代藩主ゆかりの場所が数多くあります。日本三観音のひとつであり藤堂家の祈願所でもあった「津観音」や藤堂高虎公をご祭神とする「高山神社」など是非お立ち寄りください。

## 松坂城跡

蒲生氏郷によって開かれた城下町。松坂の城下町は、伊勢街道や和歌山街道を行き交う多くの旅人で賑わい、宿場町としてまた松坂商人の町として大いに栄えました。世界ブランド「松坂牛」のふるさと松坂では本場ならではの味を楽しんで頂けます。

## 鳥羽城跡

真珠と海女のふるさと鳥羽は、西を伊勢市、南を志摩市にはさまれた海の町で、市全体が伊勢志摩国立公園に指定されています。豊かな自然景観や歴史・文化にも恵まれ、海の幸の宝庫とも知られています。

## スタンプラリーの応募

### 物産のご紹介



◆松阪木綿:松阪市  
正藍染めの縞模様が美しい松阪木綿は、かつて粋好みの江戸庶民のファッションでした。



◆松阪茶:松阪市  
松阪の深蒸煎茶は色が濃く、程よい渋みで苦味の少ないまろやかな味が特徴です。



◆かたやき:伊賀市  
忍者の携帯食といわれる日本一硬いおせんべい。餡入りや、手裏剣型など種類も豊富。



◆伊賀米:伊賀市  
伊賀地方の肥沃な土壌、清水で育まれた味・香り・粘りの三拍子揃った美味しいお米。



◆鮑(あわび):鳥羽市  
鮑は初夏から夏にかけて旬を迎え、海女たちの手で収穫されます。刺身ではこりこり、火を通せば柔らかく独自の歯ごたえが楽しめます。



◆伊勢えび:鳥羽市  
腰の曲がった容姿が長寿の慶びのシンボルとされる伊勢えびは鳥羽を代表する海の幸です。



◆うなぎ:津市  
伊勢湾沿いの津市は昔から養鰻が盛んでした。現在も多くの鰻専門店があり、お手頃価格でとても美味しい津うなぎをご賞味いただけます。



◆伊勢木綿:津市  
やわらかくて肌触りが良く保湿性や通気性も良い伊勢木綿は津市の伝統工芸品。最近では着付け体験など地元でも県内外でも注目されています。

城郭の思い出と一緒に土産もお楽しみください

### 城郭めぐりスタンプラリー応募用紙

※スタンプの重複は無効です。

年 月 日

◆伊賀上野城  
大天守閣内(有料)にスタンプを設置しています。



確認

◆津城跡  
高山神社にスタンプを設置しています。



確認

◆松坂城跡  
歴史民俗資料館内にスタンプを設置しています。  
※休館日には、松阪市観光協会内に設置



確認

◆鳥羽城跡  
鳥羽市歴史文化ガイドセンター内にスタンプを設置しています。



確認

### 城郭めぐり完了の証

お名前	ふりがな			ご住所	〒□□□□-□□□□		
性別	男性・女性	年齢	歳	連絡先電話番号	-		

ご意見・ご感想があればお聞かせください。

※ご記入いただいたご住所やお名前等の情報は、プレゼントの発送のみに使用いたします。他の目的での使用はいたしません。

## 4つの城郭をめぐるスタンプラリー開催!

左記の所定の位置にスタンプを押して、4つ揃えば先着500名様に、4つの城郭特製バッジをプレゼント!

※引換が500名様に達した時点で、プレゼントは終了となりますのでご了承ください。

●応募方法/所定の位置に4つの城郭のスタンプを押して応募用紙を封筒に入れ、裏面のいずれかの観光協会へ郵送でお送りください。郵送にてのご応募は、後日郵送にてお送りします。

また伊賀上野観光協会、津市観光協会、松阪市観光協会、鳥羽市歴史文化ガイドセンターに応募用紙を直接ご持参いただいた場合は、すぐにお渡しすることが可能です。左記の応募用紙は各観光協会のホームページからもプリントアウトできます。ただし、お一人様1回のご応募に限らせていただきます。

●スタンプラリーの有効期限は平成28年12月末日までとなります。